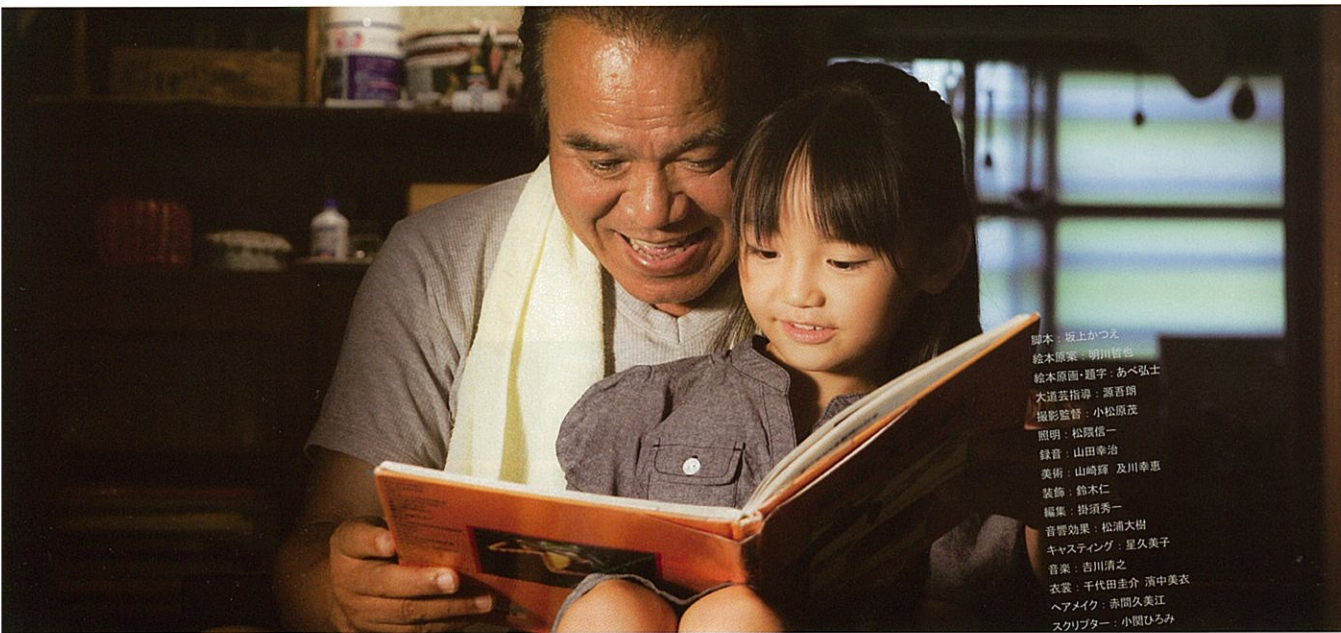


「だいじょうぶだよ」と絵本がいった



脚本：坂上かつえ
 絵本原案：明川哲也
 絵本原画・題字：あべ弘士
 大道芸指導：藤西朗
 撮影監督：小松原茂
 照明：松隈信一
 録音：山田幸治
 美術：山崎輝 及川幸恵
 装飾：鈴木仁
 編集：掛須秀一
 音響効果：松浦大樹
 キャスティング：星久美子
 音楽：吉川清之
 衣裳：千代田圭介 浜中美衣
 ヘアメイク：赤間久美江
 スクリプター：小園ひろみ
 ステール：今津秀邦
 助監督：吉田勉堂
 制作担当：野村邦彦 塚村悦郎
 ゼネラルプロデューサー：深津修一
 エグゼクティブプロデューサー：鳥居明夫 松本きい
 プロデューサー：中山賢一
 アソシエイトプロデューサー：伊藤秀
 配給プロデューサー：岡村雄二 野村次郎 高澤保崇
 ラインプロデューサー：坂口慎一郎
 ポストプロダクションプロデューサー：篠田学
 製作：『じんじん』製作委員会
 配給：『じんじん』全国配給委員会
 制作：株式会社プリズム
 制作協力：株式会社ハイブライン
 ©2013『じんじん』製作委員会

じんじん

企画・主演：大地康雄

佐藤日作 中井貴恵 村田雄浩
 小宮孝泰 中田喜子
 小松美咲 井上正大 絵沢萌子
 若村麻由美 板尾創路 手塚理美
 監督：山田大樹

泣いても笑っても
めでたしめでたし

Introduction

ひとりの俳優が絵本の里で見た子どもたちの明るい未来を映画に託し、すべての親と子に贈る。

すべては2007年、俳優の大地康雄が訪れた北海道の小さな町・剣淵町から始まった。そこでは、約20年前から絵本を真ん中に、人と人の心が通う「絵本の里づくり」を掲げ、町民は仕事の合間をぬって子どもたちに絵本を読み聞かせ、豊かな心を育んでいた。その想いは町のすみずみまで届き、人々が助けあうまでに成長。大地が見たのは絵本に目を輝かせる子どもたちであり、親と子の明るい未来だった。そして、ひとりの俳優は「絵本の力」と「親子の絆」を描いた映画づくりを始める。その想いに共感する人々が集まって誕生したこの映画から、あたたかな感動とやさしい気持ち「じんじん」と広がっていく。

story

絵本の里がつなぐのは、
心やさしい人びとの無償の愛。
大地に染みわたる親子の絆。

宮城県・松島に住む大道芸人の銀三郎(56)は、気ままな独り身で芸人仲間から愛されるお調子者だ。決まり事といえば、北海道で幼なじみが営む農場を手伝うことのみ。会社員だったときに別れた妻と娘にもそれっきり会っていない。そんなある年、農場に行くとき都会から農業研修で来ていた女子高生たちと一緒にいる。いがみ合いながらも距離を縮める銀三郎と女子高生たちだったが、ただひとりの少女だけは心を開かない。やがて農業研修は終わりに近づき、彼女はそっと打ち明けるのだった…。

www.jinjin-movie.com



『じんじん』製作委員会 プリズム/ハイブライン/オーション/トド/プレス/フェザンレーヴ/カナモト/カナモトキャピタル/シネマとうほく/北日本ジー・シー・エム/札幌映画サークル/花本建設/東日本放送/丸二永光水産/グループ未来/プロス・カンパニー/ロボット/秋田県映画センター/群馬共同映画社/九州共同映画社/映画『じんじん』四国配給委員会/熊本映画センター/シネマ・キャラバンV.A.G./ワンドリームピクチャーズ/ビーエル ©2013「じんじん」製作委員会/2013年/日本/カラー/ビスタビジョン/ステレオ/129分

みんなで観て、図書館に絵本を贈ろう!!

日時 11月9日(土)、10日(日)

①10:30 ②13:30(両日とも)

場所 佐賀セントラル会館

佐賀市松原2-11-6

《料金》

特別前売鑑賞券 大人 1000円
(当日 1500円)
小中高生 800円(当日券のみ)

後援 佐賀市、佐賀市教育委員会、佐賀市PTA協議会
主催 映画「じんじん」佐賀市上映実行委員会 委員長 鮎川 好彦
お問い合わせ 090-3660-1575(泉)